

#### 4 豚の肝臓結節（肝臓における精巢の異所形成）

機関名：豊橋市食肉衛生検査所

氏名：吉川 雅己

動物名：豚

品種：雑種

性別：去勢

年齢：6ヶ月齢

病歴：特になし

生体所見：健康畜として搬入された肥育豚

内臓所見：肝臓横隔面に直径2～15mmの淡桃色の結節が散在していた。結節の断面は膨隆し、淡桃色で斑状を呈す部分とその間隙を埋める赤褐色部で形成され、肝実質とは結合組織で明瞭に区画されていた。肝臓臓側面には右葉の基部を中心に、表面から突出した直径2～10mmの弾力性を有す結節が散在していた。また、同様の結節を横隔膜、脾臓、胃、空腸、膀胱、大網、腸間膜、腹膜の表面に広範囲にわたって確認した。

組織所見：結節には精細管に類似した管状の構造物を多数認め、それらの構造の間隙を充たすようにエオジン好性の細胞が間質を形成していた。管状構造物は淡明な核と濃染する核の2種類の細胞が1層から数層に並び管腔を形成し、中心部に向かって大小の空胞を多数認めた。間質を形成する細胞は核小体が明瞭で豊富な細胞質を有し、敷石状の配列を示していた。管状構造物は扁平な核を有す基底膜により間質と明瞭に区画されていた。また、結節周囲の肝小葉は、圧迫され、扁平化していた。他の腹腔内にみられた結節においても同様の構造を認めた。

固定方法：10%中性緩衝ホルマリン

行政処分：一部廃棄

組織診断名：肝臓における精巢の異所形成

疾病診断名：去勢術の失宜による精巢の腹腔内播種